

HazardFilter で使用しているサーバ証明書の確認方法

株式会社 YE DIGITAL

【 質問 】

HazardFilter で使用しているサーバ証明書の確認方法を教えてください。

【 回答 】

HazardFilter で使用する証明書（認証局証明書）の取得手順は、以下のとおりです。

I. 設定方法、構成例について

1. [共通アクセス管理] → [HTTPS 規制設定] を選択します。

HazardFilter Ver.9.1 Build1600 on Linux 64bit ログインユーザー:root ログアウト

ホーム グループ/ユーザー管理 共通アクセス管理 個別アクセス管理 規制解除申請管理 サーバ管理 設定情報管理 ログ管理

共通アクセス管理 >

HTTPS規制設定

HTTPSのリエネをディレクトリ単位で規制します。 保存

▶ 認証局設定

認証局証明書	認証局証明書のダウンロード 証明書サブジェクト: CN=InterSafe, WebFilter Service OAO=ALPS SYSTEM INTEGRATION CO.,LTD., ST=Tokyo, C=JP
認証局変更	<input type="button" value="ファイルの選択"/> ファイルが選択されていません PKCS#12パスワード: <input type="text"/> ※指定可能なファイル形式はPKCS#12です。秘密鍵と証明書のペアを含みパスワードが設定されている必要があります。

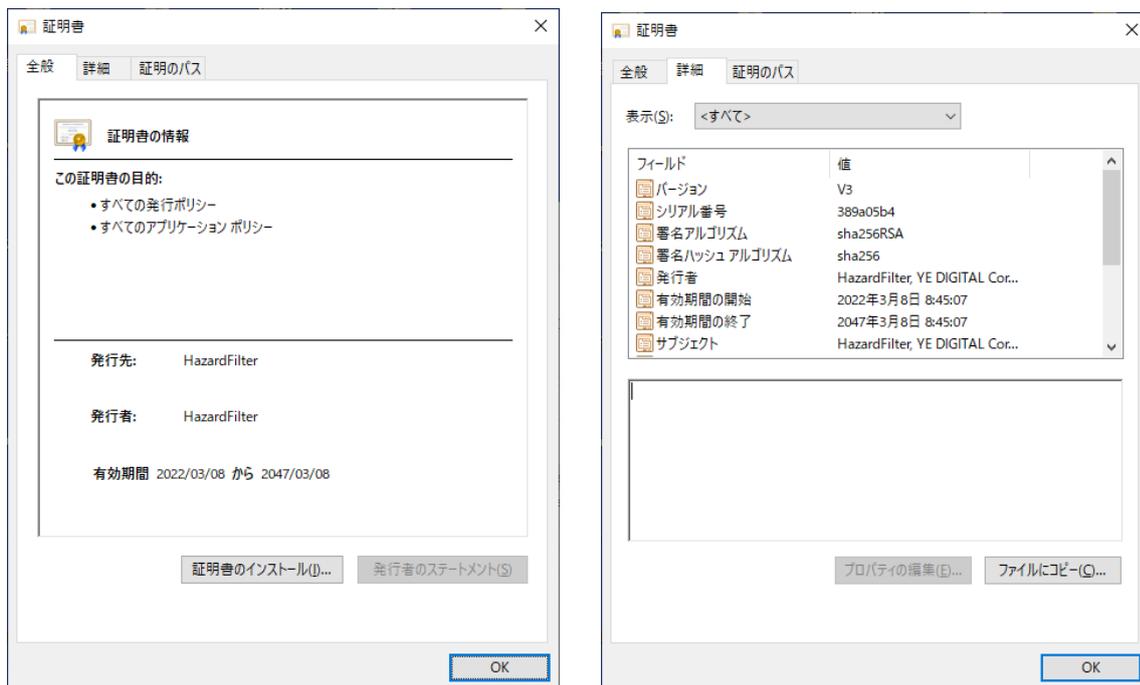
▶ サーバデコード方式

HTTPSデコード	HTTPS通信は情報が暗号化されますが、この暗号を一時的にデコードして、フィルタリングおよびアクセス履歴の保存を行います。 <input checked="" type="checkbox"/> HTTPS解析機能の申込規約と上記注意事項に同意し、HTTPSデコード機能を使用する
設定単位	<input checked="" type="radio"/> システム一括 全てのグループ/ユーザーで機能を有効化する <input type="radio"/> グループ毎 グループ/ユーザー管理(グループ管理(ネットワーク設定))で個別に機能の有効/無効を選択する
警告画面設定	<input checked="" type="checkbox"/> HTTPSデコード処理の実行前に、ユーザー警告画面を表示する 警告画面の再表示間隔: <input type="text" value="6時間"/>
対象ホスト設定	<input type="radio"/> 対象ホストをHTTPSデコード対象にする。 <input checked="" type="radio"/> 対象ホスト以外をHTTPSデコード対象にする。 ▶ 対象ホスト一覧へ
除外カテゴリ設定	▶ 除外カテゴリ設定へ
POSTログ出力設定	▶ [ログ管理]-[ログ設定] でPOSTログ出力が無効に設定されています。
パス部ログ出力設定	▶ パス部ログ出力設定へ

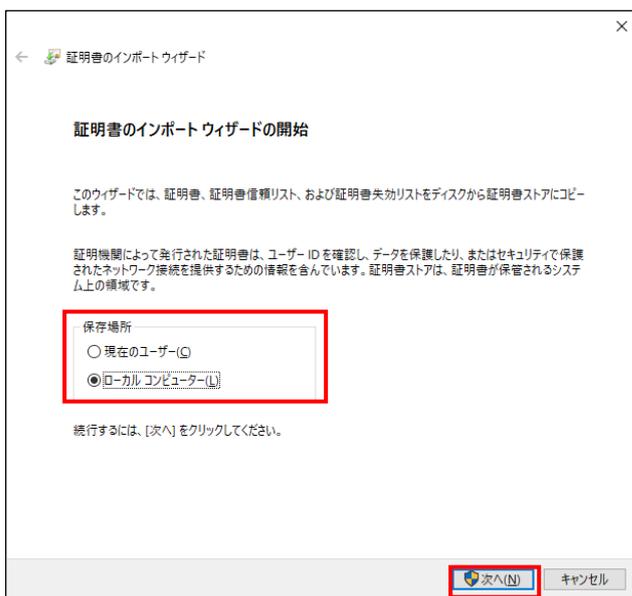
HazardFilter

2. 「HTTPS 規制設定」画面で、「認証局証明書のダウンロード」をクリックします。
「cacert.cer」ファイルがダウンロードされます。

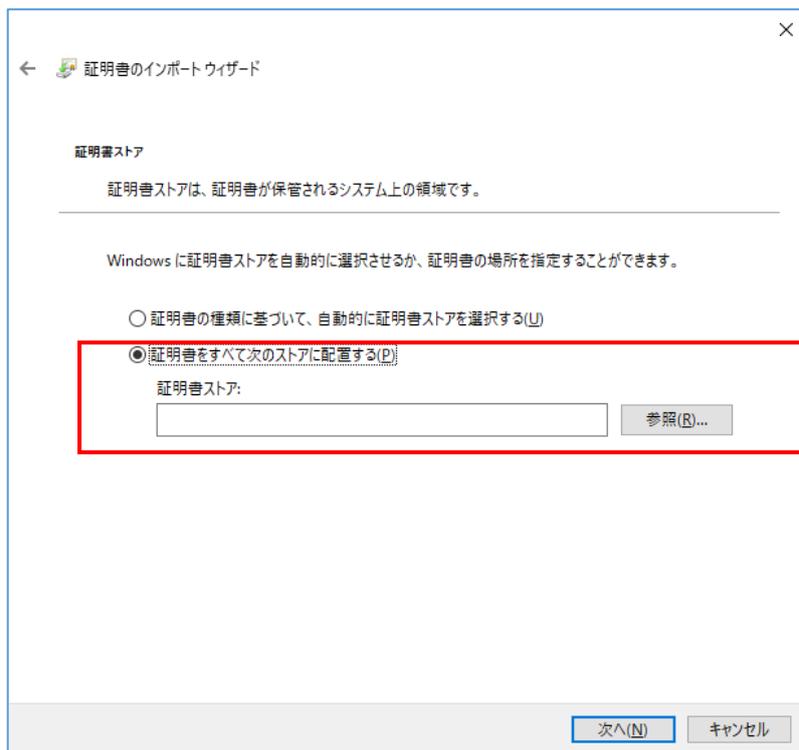
3. 取得した証明書をクリックします。



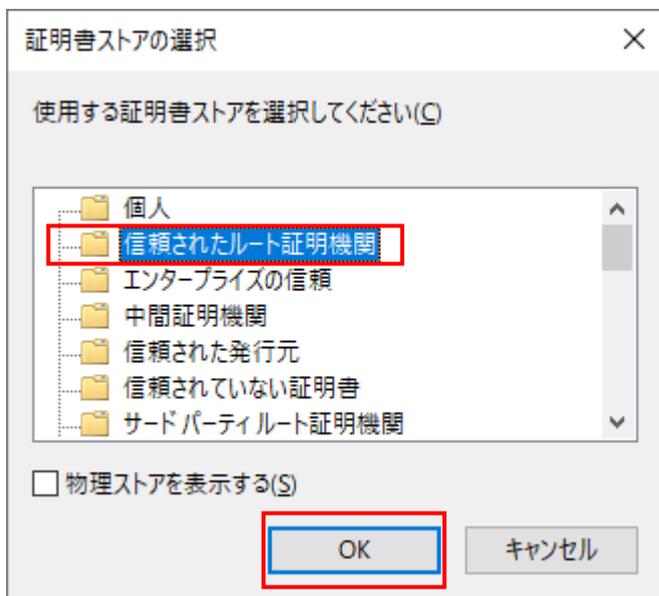
4. [証明書のインストール] ボタンをクリックすると、証明書のインストールが行えます。 保存場所を選択後、[次へ] ボタンをクリックします。



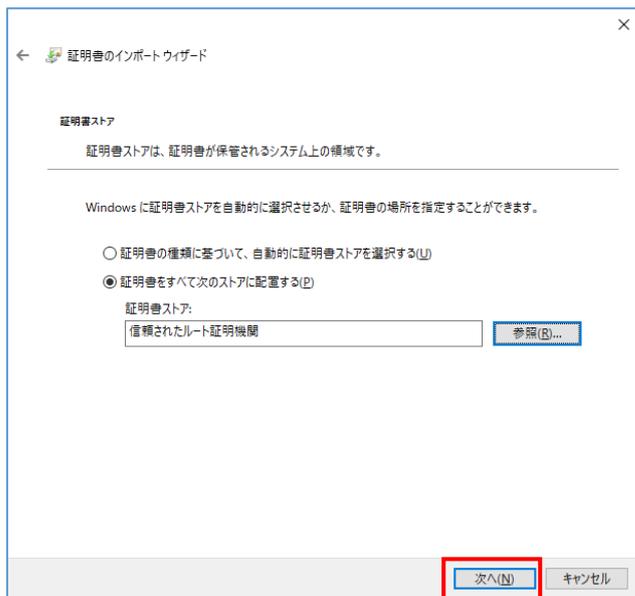
4. [証明書をすべて次のストアに配置する] を選択し、[参照]ボタンをクリックします。



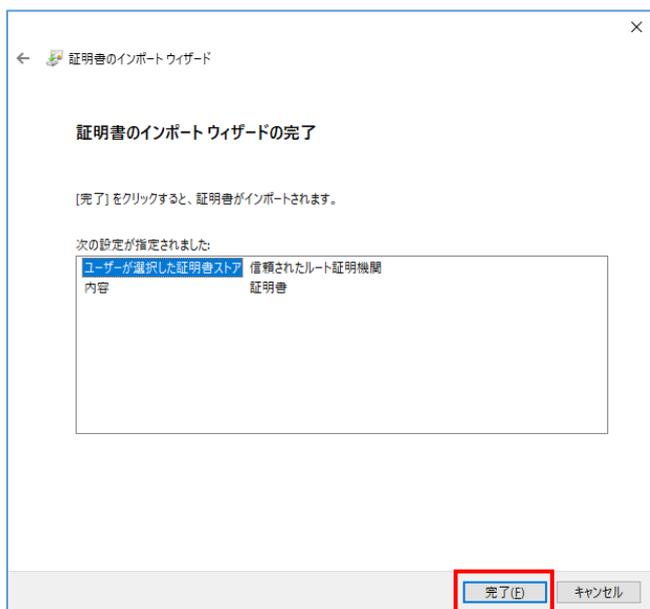
5. 「証明書ストア」の選択で、「信頼されたルート証明機関」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



6. [次へ] ボタンをクリックします。



7. [完了] ボタンをクリックします。



以上